**市民と野党の共闘を求める一区の会ニュース**

　2017年２月発行　事務局長　加賀谷義治　TEL/FAX:5817299　kagaya@k.email.ne.jp

1区の会は、共産党・民進党の事務所を訪ね 、野党共闘について懇談しました。両党とも野党共闘については前向きであり、希望を持って帰ってきました。

**共産党**（1月27日1時～2時30分）

共産党出席者：石橋1区選対本部長ほか4名

（共産党の見解）野党共闘には賛成です。その

ために活動を始めた1区の会には感謝していま

す。先日開かれた共産党大会には、野党の民進党、社民党、自由党、からの参加があり、野党共闘についても積極的な発言がそれぞれあって、大変盛り上がりました。すでに、選挙についてと政策についての実務者会議が、それぞれ開かれており中央段階においては進行しているものと考えております。

北海道においては、民進党北海道大会が21日に開かれ、野党共闘に前向きな発表があったと聞いております。共産党も29日に北海道大会を予定しており、共闘については前向きであることには変わりませんので、中央の決定を待ちながらも北海道も順次動いていくものと考えています。街頭宣伝とか、候補の共同行動については一緒にやることに、こだわりはありません。いま1番問題になっている「共謀罪」について大問題なので、街頭宣伝などでともに行動したいと思っていますが。政策については、安保協定等について考え方の相違はありますが、一致できる点から始めて不一致点は保留しておくという緩やかな取り組みでいいと考えています。

民進党（1月30日1時～1時50分）

民進党出席者：市橋北海道総支部連合会幹事長、鹿糠浩之氏

（民進党の見解）野党共闘には賛成です。1区

の政策協定については、基本的な「憲法改悪阻止、安保法制廃止、立憲主義と民主主義の回復を目指す。」についてはもちろん賛成ですが、外交、防衛問題等についてまでは、各政党の考えに相違があり、そこまでの一致を求めるのはちょっと無理かなと考えています。候補の共同行動については、同じ舞台に同じ1区の候補が並んで立つのは、あとで問題が出てくるかも。統一候補が決まってからだと問題ないと思います。市民集会に個別に参加するなら問題ないです。共謀罪反対なら問題ないでしょう。21日の北海道大会にて表明した通り、野党の共闘については賛成であり、これからもかかわっていく所存につき、1区の会との話し合いもこれからもよろしくお願いします。

1. 共産党との候補者調整は具体的に進んでいるのですか？⇒共産党だけでなく、他党とも意見交換はしているが具体的には申し上げられる段階にない。
2. 「共産党と共闘すると保守票が離れる」と懸念する民進党議員が多いが、幹事長はどのようにお考えか？⇒地域性、特に西日本では民進党候補・支持層は保守色が強く、共産党との共闘は難しい傾向にある。また、候補者の生い立ちによるところが大きい。しかしながら、北海道は比較的アレルギーが少ない。
3. 比例区の統一名簿（オリーブの木）を検討されてはいかがか？⇒名簿順位は本部にしか決められない。共闘のスタイルはさまざまな検討をしており、やり方によっては過半数を取れると考えている。